

50 回生 シラバス

科目名：老年看護学概論 単位数：1		担当者： ①専任教員（臨床実務経験有）	総時間数(回数)： 30 (15)	時期：1年後期
科目目標： ・社会的背景と統計的輪郭から超高齢社会を捉え、高齢者の特性を学び身体的・精神的・社会的側面から援助の必要性を理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	高齢者の理解	ライフサイクルにおける老年期を知り、現代社会における「老いる」ということを理解する。 1. 老いるということ、老いを生きるということ 1) 老年看護を学ぶ入り口 2) 「老いる」ということ 3) 老いを生きるということ	講義 ①	教科書① 第1章
2 3	高齢者体験	加齢変化に伴う生活の変化を体験する。 6. 高齢者類似体験	演習 GW ①	教科書① 第1章
4 5 6 7 8	超高齢社会の理解と 老年看護の役割	高齢者に関する統計的特徴と社会の変遷を関連付けて今後の予測ができる。 2. 超高齢社会と社会保障 1) 超高齢社会の統計的輪郭 2) 高齢者社会における保健医療福祉の動向 3) 高齢者の権利擁護 3. 老年看護のなりたち 1) 老年看護のなりたち 2) 老年看護の役割 3) 老年看護における理論・概念の活用 4) 老年看護に携わる者の責務 4. 「超高齢社会」における老年看護への期待 1) 高齢者の定義 2) 超高齢社会の到来 3) 高齢者医療の課題と重要性 4) 老年看護への期待	講義 GW ①	教科書① 第2.3章 教科書② 序章
9 10 11 12 13 14	高齢者の特徴と 高齢者の健康状態 の把握	高齢者の心身の機能低下における生活への影響を理解する。 7. 高齢者の生理的特徴 1) 「老化」とは 2) 老化と寿命 3) 認知・知覚機能の老化 4) 呼吸・循環の老化 5) 消化・吸収・代謝機能の老化 6) 排泄機能の老化 7) 免疫機能の老化 8) 運動機能の老化 9) 性機能の老化 8. 老年症候群 1) 老年症候群の特徴 2) おもに急性疾患に付随する症候	講義 演習 GW ①	教科書① 第4章 教科書② 1.2.3章

		3) おもに慢性疾患に付随する症候 4) おもに ADL 低下に合併する症候 5) フレイル 9. 高齢者のヘルスアセスメント 1) ヘルスアセスメントの基本 2) 身体の高齢変化とアセスメント 10. 高齢者の健康状態の把握と総合機能評価 1) 高齢者のフィジカルアセスメント 2) バイタルサインの測定・身体測定 3) 栄養評価 4) 検査 5) 訪問場面での健康状態の把握 6) 高齢者総合機能評価		教科書① 第4章 教科書② 1. 2. 3章
15	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ① (系看) 老年看護学 (医学書院: e テキスト) ② (系看) 老年看護 病態・疾患論 (医学書院: e テキスト) ③ e ナーストレーナー ブックライブラリ 生活機能からみた 老年看護過程 第3版 (医学書院) ④ 看護過程ハンドブック		評価方法 筆記試験 : 70 点 グループワーク発表・態度 : 30 点 <hr/> 評価基準 60 点以上で合格とする		

担当者①実務経験あり

50 回生 シラバス

科目名：老年看護援助論Ⅰ (加齢性変化と生活の多様化) 単位数：1		担当者：①専任教員 (臨床実務経験有)	総時間数(回数)： 30 (15)	時期：2年前期
科目目標： 加齢変化による心身の機能低下が及ぼす生活への影響と生活の場の変容を学び、看護の必要性を理解する				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2 3	高齢者の生活	老年期の生活の変化を知る 1. 高齢者の生活機能を整える看護 1) 日常生活を支える基本的活動 2) 食事・食生活 3) 排泄 4) 清潔 5) 生活リズム 6) コミュニケーション 7) セクシュアリティ 8) 社会参加	講義 GW ①	教科書① 第5章
4 5 6	高齢者の疾患	加齢変化による心身の機能低下を知る 1. 高齢者の疾患の特徴 1) 認知症 2) 精神・神経疾患 3) 循環器系の疾患 4) 呼吸器系の疾患 5) 消化器系の疾患 6) 内分泌・代謝系の疾患 7) 自己免疫疾患 8) 血液の疾患 9) 腎・泌尿器系の疾患 10) 運動器の疾患 11) 皮膚の疾患 12) 感覚器の疾患 13) 歯・口腔の疾患 14) 感染症	講義 ①	教科書② 第4章
7	高齢者と薬 高齢者の リハビリテーション	その人らしい生活を支援する看護を理解する① 1. 高齢者と薬 1) 高齢者の安全な薬物療法 2) 高齢者で注意すべきおもな薬物 3) 服薬管理能力のアセスメントと服薬支援 2. 高齢者のリハビリテーション 1) 高齢者におけるリハビリテーションとは 2) 内部障害リハビリテーション 3) 肢体不自由リハビリテーション 4) 廃用性疾患のリハビリテーション 5) 非薬物療法としてのリハビリテーション	講義 ①	教科書② 第5、6章

8 9 10 11	治療と高齢者看護	その人らしい生活を支援する看護を理解する② 1. 健康逸脱からの回復を促す看護 1) 症候のアセスメントと看護 2) 身体疾患のある高齢者の看護 3) 認知機能障害のある患者の看護 2. 治療を必要とする高齢者の看護 1) 検査を受ける高齢者の看護 2) 薬物療法を受ける高齢者の看護 3) 手術を受ける高齢者の看護 4) リハビリテーションを受ける高齢者の看護 5) 入院治療を受ける高齢者の看護	講義 GW ①	教科書① 第 6.7 章
12 13	高齢者の生活と看護	その人らしい生活を支援する看護を理解する④ 1. 生活・療養の場における看護 1) 高齢者とヘルスプロモーション 2) 保健医療福祉施設および居住施設における看護 3) 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護	講義 GW ①	教科書① 第 9 章
14	終末期看護 死の看取りの援助	・死にゆく人と周囲の人々のケアについて理解する ・死後の処置の方法を学習する 1. エンドオブライフケア 1) エンドオブライフケアの概念 2) 「生ききる」ことを支えるケア 3) 意思決定への支援 4) 末期段階に求められる援助 2. 死の看取りの援助 1) 死亡の動向と場所 2) 死にゆく人と周囲の人々のケア 3) 我が国の風習に根付く死後の処置のあり方 4) 死の看取りに関する技術「死後の処置」	講義 DVD ①	教科書① 第 8 章 教科書② 終章 教科書③ 第 13 章 【事前課題】 動画視聴 死の看取りの技術
15	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ①(系看) 老年看護学 (医学書院：eテキスト) ②(系看) 老年看護 病態・疾患論 (医学書院：eテキスト) ③(系看) 基礎【3】基礎看護技術Ⅱ (医学書院：eテキスト) ④病気がみえる⑦ 脳・神経 (メディックメディア) ⑤e ナーストレーナー ブックライブラリ (医学書院) 生活機能からみた 老年看護過程 第3版 ⑥看護過程ハンドブック			評価方法 筆記試験 : 80点 授業態度 : 20点	評価基準 60点以上で合格とする

担当者①実務経験あり

50 回生 シラバス

科目名：老年看護援助論Ⅱ (アセスメントとリスクマネジメント) 単位数：1		担当者： ①専任教員（臨床実務経験有） ②看護師（皮膚排泄ケア認定看護師）	総時間数（回数）： 15（8）	時期：2年前期
科目目標： ・加齢変化による身体的・精神的・社会的側面への影響を理解し、生活の変化と生活上のリスクにつながる情報を活かす、アセスメントとリスクマネジメントを看護に活かす方法を知る。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2 3	加齢変化による心身機能低下における看護	高齢者特有のリスクとリスクマネジメントについて理解する。 1. 高齢者のリスクマネジメント 1) 高齢者と医療安全 2) 高齢者と救命救急 3) 高齢者と災害 2. 加齢変化に伴う心身機能の低下が及ぼす回復遅延とリスク 1) 各器官の機能低下が心身機能へ及ぼす影響を考える 2) 心身の機能低下が生活へ及ぼす影響を考える 3) 実習におけるヒヤリ・ハット 4) 看護計画の立案	演習・GW (関連図と看護計画) ①	教科書① 第10章 付章 C
4	皮膚統合性障害のリスクにおける看護	アセスメントとリスクマネジメントに必要な情報を理解し、看護に活かす方法を知る① 1. 皮膚統合性障害予防の看護 1) 皮膚統合性障害とは 2) 皮膚統合性障害のリスクとアセスメント 3) 皮膚統合性障害の発生・悪化予防と看護計画	演習・GW (関連図と看護計画) ①	教科書① 第4、5章
5	身体損傷リスクにおける看護	アセスメントとリスクマネジメントに必要な情報を理解し、看護に活かす方法を知る② 2. 身体損傷発生予防の看護 1) 身体損傷とは 2) 身体損傷リスクとアセスメント 3) 身体損傷の発生・悪化予防と看護計画	演習・GW (関連図と看護計画) ①	教科書① 第4、5章
6 7	褥瘡発生リスク状態における看護	アセスメントとリスクマネジメントに必要な情報を理解し、看護に活かす方法を知る③ 3. 褥瘡の発生機序とアセスメント及びリスクマネジメント 1) 褥瘡の発生機序 2) 褥瘡発生時・褥瘡治癒過程における評価方法 3) 褥瘡の治療方法 4) 褥瘡の発生要因におけるアセスメントとリスクマネジメント 5) 褥瘡発生・悪化予防の実際 4. 創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 1) 褥瘡予防ケア 2) 創傷処置（創洗浄・創保護・包帯法）	講義・演習 学生間評価 ②	教科書① 第5、6章 教科書③ 第4章 教科書④ 第8章 【事前課題】 教科書⑤ 動画視聴 創傷管理技術 【事後課題】 学生間評価 ・創傷処置 ・褥瘡予防ケア
8	終講試験		試験 ①	

<p>教科書 参考書</p> <p>① (系看) 老年看護学 (医学書院 : eテキスト)</p> <p>② (系看) 基礎【4】臨床看護総論 (医学書院 : eテキスト)</p> <p>③ (系看) 基礎【3】基礎看護技術Ⅱ (医学書院 : eテキスト)</p> <p>④ eナーstreiner 【基礎・臨床看護技術】 (医学書院)</p> <p>⑤ eナーstreiner ブックライブラリ【老年看護過程 第3版】 (医学書院)</p> <p>⑥ 病気が見える⑦ 脳・神経 (メディック・メディア)</p> <p>⑦ NANDA-I 看護診断 定義と分類 (医学書院)</p> <p>⑧ 看護過程ハンドブック</p>	<p>評価方法</p> <p>筆記試験 : 70点</p> <p>(専任教員 : 50点 認定看護師 : 20点)</p> <p>演習 : 30点</p>
<p>評価基準</p> <p>60点以上で合格とする</p>	

担当者①②実務経験あり

50 回生 シラバス

科目名： 老年看護援助論 Ⅲ（看護過程） 単位数： 1		担当者：①専任教員 （臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15 （8）	時期：2年後期
科目目標 事例を通し「その人らしさ」を尊重する個別性ある看護過程の展開とその必要性を理解できる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	看護過程の展開	高齢者看護に必要な知識を基に、具体的な看護を提案できる 1. 高齢者看護に必要な情報を見直す 1) 身体的側面と疾患 2) 心理的側面と疾患 3) 社会的側面と社会保障	講義 演習 ①	教科書① 付章
2 3 4 5 6 7		事例に沿って看護過程の展開ができる 1. テキストの事例に沿って看護過程の展開ができる 2. 周手術期の事例を考える 3. 回復過程にある事例を考える	演習 ①	教科書・参考書 ①②③④⑤⑥
8	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ①（系看）老年看護学（医学書院：eテキスト） ②（系看）老年看護 病態・疾患論（医学書院：eテキスト） ③病気が見える⑦ 脳・神経（メディック・メディア） ④e ナーストレーナー ブックライブラリ 生活機能からみた 老年看護過程 第3版（医学書院） ⑤NANDA-I 看護診断 定義と分類（医学書院） ⑥看護過程ハンドブック			評価方法 筆記試験 : 30点 授業態度 : 20点 看護過程の展開 : 50点 評価基準 60点以上で合格とする	

担当者①実務経験あり